

榛名地域審議会懇談会

第5次総合計画前期実施計画に係る質疑

事業名	No	質 疑	回 答
榛名地域福祉会館建設事業	1	榛名ふるさと祭りの商工祭を西別館（旧体育館）で実施している。西別館用地に榛名地域福祉会館（仮称）建設の際に、そこで商工祭を実施できるような構想で建設するのか。	現在の榛名ふるさと祭りで使用しているような状態で、そのままの形態を福祉会館に移行させるのは若干不都合がある。多目的ルーム等を併設予定なので、利用可能であれば使用いただきたい。
	2	商工祭で使用できるような総合的に使えるような広いスペースを設計できるのかということか。	<p>榛名地域福祉会館（仮称）や駐車場等を一体的に使用してイベント等を実施し、高齢者、障がい者、子育て世代等皆さんで交流できる場所として活用してもらいたい。</p> <p>西別館用地に福祉会館を建設するにあたりそのようなところが心配された。今までと同じにはいかないかもしれないが、あの場所で商工祭を行えるような方法を考えていきたい。</p>
榛名地域観光施設整備事業	3	榛名地域は合併により、観光交流ゾーンとなり観光に重きを置いている。観光関係の平成21年度実施計画事業の予算が、相対的に減っている。もうちょっと力を入れて事業を実施してもらいたい。	現実、指摘のとおりとなっている。榛名神社の駐車場整備事業では、広い土地の確保が難しい地域であり、場所の選定で苦慮している。この整備事業が実施できれば大きな予算になってくる。平成20年度の都市型農業施設整備促進事業については、フルーツラインとフルーツ団地の施設整備計画策定業務委託で、平成21年度はイベント等開催費用となっている。フルーツライン農業施設整備の具体的計画、フルーツ団地周辺の農業生産者で施設整備の具体的検討を行っている。

都市型農業施設整備促進事業	4	榛名地域は都市型農業というより中山間地域の農業になる。実施計画事業の予算では、平成19年度100万円、20年度400万円、21年度81万円というように相当な減額になっているので、大変に危機感をもっている。予算的にもバックアップして貰えるような方策を考えていただきたい。	(要望)
事業名	NO	質 疑	回 答
下里見地域コミュニティセンター整備事業	5	下里見地域コミュニティセンターは公民館整備として進めていくとのこと、公民館整備の内容やどんな施設が入るのか教えてもらいたい。施設検討の際、地域の住民が有効に利用できるものにしてもらいたい。	平成20年度で下里見地域施設整備検討委員に代表的な公民館をいくつか視察してもらった。新年度から具体的な内容等を検討していきたい。
	6	下里見公民館の整備のための目途がついたようだ。現在、榛名文化会館内に公民館があり、下里見地域の公民館整備が進行中で、引き続いて久留馬地区と室田地区にそれぞれ公民館整備を是非具体化してもらいたいと強く要望したい。	(要望)
自校方式給食拡充事業	7	榛名中学校と小学校3校(久留馬小、下里見小、下室田小)に給食室整備計画予定があるとのこと。私は里見小学校区域に住んでいて、人口も結構あり、将来的に里見小学校に給食室を設置する計画はないのか。	里見小学校の校舎周辺で給食室を建設する適切なスペースがない。少し先になるが、里見小学校の建て替え計画があるので校舎と一体的な整備の方法も検討しながら考えていきたい。
	8	里見小学校の建て替え計画は、いつ頃になる予定か。	校舎の耐震調査等があるが、おおよそ10年先ぐらいでの建て替え計画が予想され、その時に一体的に整備した方が効率的かと考えている。

<p>榛名南麓フルーツライン整備事業</p>	<p>9</p>	<p>榛名南麓2期地区計画一般図を見ると、十文字地区に丸い赤印で果物公園、三角の赤印で堆肥流通センター等があるが、これはこういった性質のものなのか。</p>	<p>フルーツラインについては、地図に表示された農業用施設の整備の必要性から道路整備（フルーツライン）が計画され、国の許可を受け、着工している。設置場所については、白紙の状態であり、今後の施設整備の推進については、県、市、農協、農業生産者団体、地元等と引き続き検討を重ね、事業の推進を行っていきたい。</p>
------------------------	----------	--------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業名	NO	質 疑	回 答
<p>榛名南麓フルーツライン整備事業</p>	<p>10</p>	<p>中室田地域は私の地元で、フルーツライン変更ルートへの反対地権者が地権者説明会にも行かないで反対していると聞いた。また、地元からの要望で建設する道路なのに、地元の地権者から反対があれば計画がなくなるだろうという話も聞いた。建設予定地の道幅に杭があるところもあれば、全然測量に入れない場所があると聞いた。説明会に来ない方や反対者への対応は、どうなっているのか。</p>	<p>昨年12月までの地形測量（道路の中心線を決める）の過程での測量を実施していない場所はない。</p>
	<p>11</p>	<p>変更ルートが中室田小学校の近くになるということで、小学校の周辺に大きな道路ができて、交通量が激しくなるというのはどうか。</p>	<p>県では、歩道については、中室田小学校付近から中北線までの間を幅2メートルで計画していて、通学児童や歩行者の安全が確保されるように考えている。</p>

	1 2	道路の中心線が決定すると、次に道路幅を決めるのかと思うが、反対側の道幅のところに違う地権者の土地があったときに測量できないのか。	今までに行った地形測量は、土地の現況調査を実施し、その際測量を行えない等のことはない。1月の地権者説明会でも反対の意見はなかった。中心線が決定され、今後は詳細な測量及び設計後、道路幅が決まってくるので、各地権者に理解いただき説明、協議を行いたいと考えている。
	1 3	ルート変更される以前に県で買収してある土地を榛名地域全体での有効活用ということで懇談会を立ち上げるということだったが、その後どうなっているか。	現在、県の方は本庁の地域政策、県民局の行政事務所、農政等に入ってもらって研究会で検討を始めている。変更ルートの建設を最優先にしながら、この研究会で農道整備は無理ということなので、他の手法等で買収してある土地の利用方法を検討している。
新エネルギー利活用研究事業	1 4	榛名地域は観光交流ゾーンになっているが、中山間地域として農業に携わる人口が非常に多い。新エネルギー利活用研究事業は、地産地消、地域の活性化につながる重要なことなので、平成21年度具体的にどのように新エネルギーと結び付けていくのか教えていただきたい。	バイオマスエネルギーの事業展開については、今後、具体的なプランの研究段階に入っていく。榛名、箕郷地域の梅、梨、プラムの剪定枝、チップ等の燃焼実験等を行いながら、利活用できるかどうかについて、取り組んでいく段階である。現在の取り組みとしては、高崎健康福祉大学の教授がウメタケ栽培研究を行っていて、販売ルートに載せられないか栽培実験等を行っている。

その他の質疑

No.	質 疑	回 答
1	<p>里見フルーツ団地の施設整備組合長をやっていて、それぞれ研究会を立ち上げて検討している。里見フルーツ団地の道路について、入口の吉ヶ谷は7メートル道路が完成していて、出口の安中市側の板鼻から先の道路が広がっていない。その道路の進捗状況といつ頃できるのか。</p>	<p>里見フルーツ団地の道路計画は、当初県が事業主体で進められ、その後事業費の肥大化により計画変更がなされ、安中市単独の事業で同市側と同規格の道路となっている。安中市の回答では、財政状況等もあり現状以上の計画はないとのことであったが、当初の計画の実現をお願いしている。</p>
2	<p>これは国の補助事業で実施したが、国と県の事業の整合性というか、国はそのことを承知しているのか。また、市からも安中市へ道路の拡幅をお願いしてもらいたい。</p>	<p>県営事業は終了しているので、国も了承しているのかと考えられる。</p>
3	<p>将来的に耕作放棄地がかなり増加していくと考えられるが、そのことについて市として、地域の振興策としてどのように考えているのか。</p>	<p>耕作放棄地の増加については、農業後継者の不足、農畜産物の価格の低迷等いろいろと要因は考えられるが、農地の流動化の窓口である市農業公社を通しての貸し借りの希望もなかなかないというところである。今年度耕作放棄地の調査を行ったところ、榛名地域はかなり多くの放棄地があった。国も全国の耕作放棄地の調査集計を行っているところで、具体的政策もまだ見えてこないのが現状である。市としても今後、対策を検討していく。</p>
4	<p>県で観光道整備事業という5億ほどの新規予算があって、赤城方面に予算が付いていると聞いた。市では、そのような事業があることを知っているのか。</p>	<p>市の姿勢としましては、榛名地域全体、榛名湖周辺を取り巻く地域の道路整備という視点で、県に検討してほしいとお願いしている。県で観光道路化構想があるということを知り、強く要望している。今後も強く県に話をしていきたいと考えている。</p>
5	<p>榛名地域は観光交流ゾーンということで、榛名の地域振興という観点から観光全般、フルーツライン事業の推進、国道406号から安榛トンネルへ向かう接続橋梁の建設等を県への陳情等を含め各般わたり検討して地域の活性化を図ってもらいたい。</p>	<p>(意見)</p>

6	<p>審議会のあり方で、合併協議の協議事項、第5次総合計画等の進捗状況について主に審議するのが役割かと思う。本来の協議事項以外のことが、大幅に占めるのはどうか。</p> <p>市からの協議事項等に対して、いろいろ意見交換して審議するのが審議会の役割かと思っていた。今後、審議会、懇談会その他に勉強会でいろいろ意見を取り交わして、審議会に提案していく方法も良いと考えている。</p>	<p>勉強会、懇談会、審議会とある中で、いろいろな意見を出していただいて審議できるような方向にしていきたいと考えている。勉強会では身近なこまごまとしたことについて、意見交換してもらい、懇談会、地域審議会では協力いただく時間的な制約を調整しながら行なっていきたい。</p>
7	<p>最終処分場に関してはいろいろと批判があるところだが、最終処分場（エコパーク榛名）第2期施設整備について、もう少し詳しく説明していただきたい。</p>	<p>エコパーク榛名の第2期施設整備については、現在の施設の埋立て容量がいっぱいになりつつあるということで、埋立て期間を約11年5ヶ月延伸するものである。平成24年4月の供用開始を予定。基本実施設計委託及び生活環境影響調査を平成21年度に実施予定である。</p>
8	<p>生活環境影響調査の委託実施とのことだが、これについて十分な影響調査をしてもらいたい。</p> <p>市で行う最終処分場（エコパーク榛名）第二期施設整備ですので間違いはないと思うが、工事の設計及び施工に関して十分留意して推進していただきたい。</p>	<p>委員さんよりの意見の趣旨を担当部局につなぎ、生活環境への影響を伴う委託事業になるので十分な調査が行われるよう図っていきたい。</p>